

山口県感染症発生週報

(第49週:平成24年12月3日～12月9日)

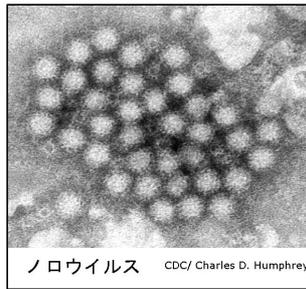
1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第48週追加:4例(下関2、周南2)。第49週:5例(岩国、防府2、宇部2)。

【5類感染症】

◆後天性免疫不全症候群: 第49週:1例(周南)。



ノロウイルス CDC/ Charles D. Humphrey

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 報告数は先週からさらに増加し22例でした(岩国2例、防府5例、宇部15例)。迅速検査では、A型20例、A型B型共に陽性2例(岩国)でした。防府市内の中学校において集団発生による学年閉鎖がありました(12月11日)。

◆RSウイルス感染症: 例年冬期に流行がみられますが、今年はかなり早い時期から流行しています。3週連続して減少し、今週は例年の同時期と同程度の報告数でした。乳幼児を中心に引き続き注意が必要です。

◆咽頭結膜熱: 例年の同時期と比較して多い状況です。【警報レベル=長門(2週目)】※

◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 例年の同時期と比較して多い状況です。【警報レベル=山口(10週目)】※

◆感染性胃腸炎: 第45週(11/5～11/11)以降急増し、山口県全体の定点当たり報告数は今週23.50となり、警報開始基準値の20を上回りました。地域別には長門、周南、山口に続き今週下関、萩も警報レベルとなり、県内のほぼ全域で流行しています。また、下松市内の介護施設において集団発生がありました。冬季はウイルスを原因とした感染性胃腸炎が流行しやすいので、注意が必要です。【警報レベル=萩(新)、周南(3週目)、長門(4週目)、下関(新)、山口(2週目)】※

◆水痘: 第44週(10/29～11/4)以降急増しています。長門は先週に引き続き、防府は再び増加し注意レベルとなっています。12月から7月にかけて多くみられる疾患ですので、注意が必要です。

【注意報レベル=長門(2週目)、防府(新)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kannoken.pref.yamaguchi.lg.jp/ivoho/report2012/keihotvuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	47週	48週	49週	疾患名	47週	48週	49週
インフルエンザ	0	3	22	百日咳	1	0	0
RSウイルス感染症	80	72	55	ヘルパンギーナ	12	6	5
咽頭結膜熱	16	27	31	流行性耳下腺炎	5	13	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	160	201	172	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	649	886	1128	流行性角結膜炎	0	2	5
水痘	88	123	104	クラミジア肺炎	0	0	1
手足口病	2	3	10	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	4	5	3	マイコプラズマ肺炎	5	7	4
突発性発しん	37	36	45	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	2	0	0	5	0	15	0	0	22
RSウイルス感染症	15	6	0	3	4	8	8	11	0	55
咽頭結膜熱	18	2	0	4	4	0	0	3	0	31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	45	13	0	27	5	49	20	3	10	172
感染性胃腸炎	273	93	24	257	40	132	146	63	100	1128
水痘	16	4	10	16	17	14	13	12	2	104
手足口病	7	1	0	0	0	0	0	2	0	10
伝染性紅斑	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
突発性発しん	15	0	1	10	1	5	5	7	1	45
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
流行性耳下腺炎	0	0	3	3	2	2	1	0	0	11
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	1	1	0	0	2	0	0	0	5
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	1	0	0	0	2	0	4
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 その他

・アデノウイルス急性咽頭扁桃炎の報告が例年の同時期と比較して多くみられます。

※平成24年12月13日に訂正がありましたので、一部修正しました。